

大館市再犯防止推進計画（案）に対する パブリックコメントの実施結果について

○実施の概要

1. 募集期間 令和5年1月6日（金）から令和5年1月26日（木）まで
2. 資料閲覧場所 大館市ホームページ、大館市福祉部福祉課、比内総合支所市民生活係、田代総合支所市民生活係
3. 意見提出方法 郵送、ファクス、電子メール、閲覧場所へ直接提出
4. 意見提出者 1人
5. 意見の内容

	意見の内容	市の考え方
①	<p>資料の統計をみると、現状、大館市での犯罪の大多数を占めているのは窃盗です。また、年齢も高齢の者が犯罪を犯すことが多いことがみてとれます。そして、資料にも記載してあるとおり、住居や身寄りが無いなどが原因となり、切羽詰まった状態にあることが想定されます。更に付け加えるならば、一般人の普通の対応として、犯罪を犯した者への当りは厳しく、刑執行後も完全に解消されずに残り続けることとなります。</p> <p>そうであるならば、現在行っているような「結果の出るまで時間のかかる支援」では、犯罪前から何も状況が変わらないままに、段々と追い詰められ再犯をするという悪循環に陥ることが容易に想像できます。ですので、出所後や申請したらすぐに変化のある「即日支援」ができる環境を整備することで、自身の力では現状を変えることが難しい人への対応を行うことが必要だと考えます。</p> <p>そこで、一つの例として、集落程度の大きさがあるコミュニティ形成を提案します。廃村や限界集落のような、建物・土地・田畑などの生活できるだけの基盤がある一帯をつかい、申請したその日から裸一貫でも生活ができる場所を提供するような即日支援です。ただし、公機関から集落への関与は出来るだけ減らすべきだと考えます。ルール在りき、公金在りきでは、効果が全くでないことになるでしょう。立ち上げは官民連携で立ち上げたとしても、実際の維持運営は住民や民間企業に移管することで、自立を促すことになり、多くの可能性や選択肢を与えることができると考えます。</p>	<p>ご意見のとおり、当市では65歳以上の人口高齢化率が40%で、身寄りがないかたも多数いる中、今後さらに高齢化率は加速することが考えられます。</p> <p>また、当市の犯罪の特徴としては窃盗犯の割合が高く、経済困窮に起因するものとなれば、生活費の安定、住居の確保、相談相手の寄り添い、生活状況の見守り等の施策が重要となります。</p> <p>コミュニティを形成し犯罪者自身で自立の努力をすることも一つの方法ではありますが、閉鎖的な社会よりも、オープンな日常空間で多種多様な支援に触れて、日常生活が送れる環境を作っていくことが理想であり現実であると考えます。</p> <p>生活費は生活保護や就労支援、住居費は生活保護、住居提供が市都市計画課や民間の住宅賃貸業者、相談相手・見守りは保護司、福祉課、町内会など、様々な機関が継続的に関わることで、孤独の解消や基本的な生活を送ることが出来る環境作りを行い、犯罪者が再度犯罪に手を染めることのないよう支援して行きます。</p>